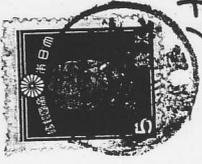


九折色山王一八三二



徳富猪一郎

先生

拝見 先生十月十日入第、朝野字誌の心づく
 白通問答巻著と西稿、酒後茶趣味、赴下
 七日龍馬の像、合衆新聞記者に接する所、
 残念に思ふ候朝野の学生等よく奮起してこれ
 同業に思ふ候、毎新聞に学生奮起の事情書
 一、新報の由、先生此候、心表、然上候、
 眼、
 蘇峰 先生

昭和 年 月 日

東京市麹町區永田町二丁目一番地

黒 瀬 旅 館

電話 銀座 四九七三番

No.

東京市麴町區永田町二丁目一番地

黑 瀬 旅 館

電話銀座(57)四九七三番

香山光郎

(東京3389)

分

十二月四日

公益財団法人 徳富蘇峰記念塩崎財団所蔵

徳富蘇峰宛

香山光郎

書簡 NO.

明治・大正・昭和 19年 12月 4日